

に総力を！

革マルによる千葉地本破壊攻撃うちくたぎ、
更なる組織強化・拡大をかちとろう！

千葉鉄当局は、3月27日、昭和54年度運輸関係新規採用者について、配属を含めて提案を行ってきた。ゆいゆいは、これに対し組合主張をぶつけて大綱、別記する内容をもって確認をはかったところである。

ゆいが千葉地本は、この間の革マル分子による組織破壊攻撃に対し、文字通り一四〇〇名の総決起をもってこれを打ちくだき、即ち動労の伝統を一身に担って激闘の80年代勝利へ向って新たな陣地に突入している。

こうした情勢の中で、今日「運輸職場の労働者は全て動労千葉へ！」のスローガンのもとに、労働組合として量的にも質的にも鉄道の支配権を確立することは、あらゆる意味で決定的に重要である。

今こそ新採獲得へ向けて全組合員は総行動に決起しよう。

今こそ、きめ細かな組織強化
拡大の陣いを！若い仲間を全員
動労へ！

今日、千葉局の状況とりわけ運輸関係の要員需給展望は、他局よりの転勤・助勤をもつてかろうじて運行を保つという現状にある。さらに、国鉄における職員構成は、いわゆる「逆ピラミッド型」になっており、むしろ五年間を見ても相当数の退職者が見込まれる。これに対し、今後、津田沼・千葉両復々線化・京葉線南業・外房線をはじめとする線増計画をかかえている千葉局管内事情を見るならば、動労の基

今日国鉄当局は森山運輸相発言にも示される様に大巾要員合理化を企図し、検修作業部門の業務切り捨て——千鉄にあってこそ、整備掛民託化——攻撃を構えてきている。他方組の全面屈服ばかりか、革マル分子によって「反合同争放棄に転落した誤れる動労本部方針を糾す意味でも、ゆいが動労千葉の正しい反合同争推進」新採大量獲得「組織拡大は重要である。更に奮闘しよう！」

即ち動労千葉の底力を
示すとき！

新採獲得

4月2日-全員、局集合のち
各現場へ配属。
3日、5日-2回にわけて
入社式。
13日-1回(千科)学園入学

更に今一步の奮闘を！

100%の動労加入めざして、

この一年間、日常的な世話役活動・調査活動も含めた各支部での奮闘の一切の成果が今、ゆいゆいでいる。

一方では、ゆいゆいは動労を二分する「動労大改革」運動の真只中にあるという極めて緊張した状況にあるが、

(54年度新採配属数)

区所名	予科	一般
新小岩村南区	7名	
津田沼電車区	15	2名
幕張	15	2
千葉運転区		5
蘇我枕崎区	4	
木更津	4	
館山運転区		3
勝浦	2	2
成田		2
銚子	1	1
佐倉村南区	15	
合計	63名	17名

※津田沼・幕張配属の一般採合計4名は「物資部統配」による配転者なので、すでに国労の組合員。